

赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 鹿茸

新訂和漢薬 記載頁

777

基源 鹿: 偶蹄類シカ属 Cervus sp. の肉, 筋肉, 頭肉, 蹄肉, 頭脳, 胆, 腎, 陰莖, 皮膚, 骨, 骨髓, 会厭軟骨, 歯, 初生角, 頭角, 角膠, 脂肪, 血液, 精液, 糞, 胎糞, 胎児. 日本産はシカ (ニホンシカ) C. nippon (= Sika nippon) Temm. 中国産はアシアシカ (アカシカ) C. elaphus L., 満洲産はマンシュウアカシカ C. xanthophyngus M. Edw. 等より採る.

部位 肉, 筋肉, 頭肉, 蹄肉, 頭脳, 胆, 腎, 陰莖, 皮膚, 骨, 骨髓, 会厭軟骨, 歯, 初生角, 頭角, 角膠, 脂肪, 血液, 精液, 糞, 胎糞, 胎児.
初生角 (鹿茸)[毛皮を被ったものを用いる]: 去皮毛酥炙 [福田方, 本草綱目], 酒炙, 酒蒸焙 [本草綱目].

作用 初生角 (鹿茸)[毛皮を被ったものを用いる]:
無毒. 益気 [神農本草, 新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目, 満洲漢薬], 強志, 生齒, 不老 [神農本草, 新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 小便利 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 安胎, 下気, 殺鬼静物, 耐老 [証類本草, 本草綱目], 壮筋骨, 生精, 補髓, 養血, 益陽 [本草綱目], 滅陰壮陽, 生血, 補虚 [満洲漢薬].

応用 初生角 (鹿茸)[毛皮を被ったものを用いる]:
寒熱驚癇, 漏下悪血 [神農本草, 新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 虚勞, 羸瘦, 四支酸疼, 腰脊痛, 洩精, 溺血, 石淋, 癰腫, 骨中熱疽 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 崩中帶下 [証類本草, 本草綱目], 陰痿, 腰腎虚冷, 痢血, 虚痢, 耳聾, 目暗, 眩運 [本草綱目], 諸虚百損 [満洲漢薬].

処方 初生角 (鹿茸)[毛皮を被ったものを用いる]:
参帰鹿茸湯〔痘瘡〕, 断紅円〔便血〕, 鹿茸散〔尿血〕, 鹿茸丸〔遺尿〕, 魔茸丸, 鹿茸酒〔陰痿〕, 鹿茸大補湯〔虚弱〕, 内塞散〔創傷〕.

備考